



千紀園は1661（寛文元年）に創業し、360年以上にわたり日本茶と向き合ってきました。その長い歴史の中で培われた抹茶への深い見方が、抹茶菓子作りにも生かされています。

バレンタインが近づくこの季節、甘さだけでなく素材の良さを重視したチョコレートを探している人に薦めたいのが、草津市の老舗茶舗「千紀園」が手がける「宇治抹茶トリュフ」と「宇治抹茶生チョコレート」です。

■ 草津・千紀園の宇治抹茶チョコレート

落ち着いた味 堪能を



上宇治抹茶生チョコレートのパッケージ
下宇治抹茶トリュフと宇治抹茶生チョコレート



これまでの「しが旅のススメ」は、こちらから

アーバン
の1の50
店一階。

草津本店は草津市上笠
2の11の8。
「草津近鉄店」
は草津市渋川1
1の50、近鉄百貨店草津
1階。ホームページはQ
コード

務局・谷坂優希)

(草津市観光物産協会事

じられる一品として今年

茶文化の奥深さを身近に感

フットにも適しています。抹

好む人へのバレンタインギ

おり甘いものた得意でな

の手土産としても選ばれて
おり、甘いの得意であります。

元の人はもちろん、県外へ

滋賀発の菓子として、地

しが旅のススメ

10

1

(c).中日新聞社 無断転載、複製、頒布は著作権法により禁止されています